

野外焼却(野焼き)は 法律で禁止されています

問合せ／環境衛生課 (979-8112) 駿東伊豆消防本部田方北消防署 (978-0119)

野外焼却(野焼き)は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、で一部例外を除いて禁止されています。野焼きをした人には、5年以下の懲役、もしくは1,000万円以下の罰金または、両方が科されます。

屋外でごみを燃やすことは、有害なダイオキシン類が大气や土地を汚染し、煙やにおいなどで生活環境に悪影響を与えるだけでなく、隣近所の迷惑になることもあります。

焼却が例外的に認められる場合でも、マナーとルールを守りましょう。なお、火の後始末は必ず行ってください。

例外として認められている焼却行為

- ① 国または地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却
(例) 河川管理のために伐採した草木などの焼却
- ② 震災、風水害、その他の災害の予防、応急対策または復旧のために必要な廃棄物の焼却
(例) 災害などの緊急対策、火災予防訓練など
- ③ 風俗慣習上または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却
(例) どんど焼きなどの焼却
- ④ 農業、林業、漁業を営むためのやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却
(例) 農業者が行う稲わらなどの焼却、林業者が行う伐採した枝などの焼却
- ⑤ たき火、その他日常生活を営むうえで通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なもの
(例) 暖をとるためのたき火、キャンプファイヤーでの木くずの焼却

例外として認められる焼却をする場合であってもしてはいけないこと

- ① 駿東伊豆消防本部田方北消防署もしくは環境衛生課に事前に届け出をする。
「火災と紛らわしい煙又は火災を発生おそれのある行為の届出書」を作成し事前に提出してください。火災予防の観点から設けられたものであり、届け出によって野外焼却が許可されるわけではありません。事前に連絡があった場合でも、住民からの苦情や通報があった場合は、野外焼却を中止してもらいます。
- ② 風の強さや向きに注意して飛び火や洗濯物など他に被害が発生しないように十分注意する。また延焼や飛び火する可能性があるため、その場から離れない。



10月は 食品ロス削減月間

食品ロスは、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品のことです。食品ロスを減らすことは、食品の生産から販売に至るまでに使われる多くのエネルギーの削減にもつながります。

県では食品ロス削減月間に合わせてキャンペーンを実施しています。食品ロス削減についてできることから取り組みましょう。

問合せ先／環境衛生課 (979-8112)



家庭の食品ロスを減らす3つのコツ

①

買い物前には家にある
食材を確認



②

使い切れる分だけ
買う



③

食べ切れる分だけ
調理



買い物のときは「手前取り」

● 廃棄されることによる食品ロスを減らそう

「手前取り」は、すぐ食べる物を購入するときは商品棚の手前にある商品や販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ新しい消費行動です。自分の生活の無理のない範囲で「手前取り」にご協力ください。

県では小売店と連携して、手前取りを実践してクルポポイントを獲得できるキャンペーンを実施しています。

クルポってなに？

スマートフォンなどで取り組める地球温暖化対策の県民運動のこと。地球にやさしい活動「クールアクション」をして、無料アプリ「クルポ」でQRコードを読み込むとクルポポイントが獲得できます。



30クルポポイントで
商品が当たる
抽選に参加

食品ロス削減アイデアを教えてください

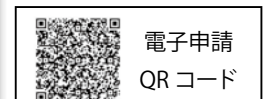
● ふじのくに教えて食品ロス削減投稿キャンペーン

皆さんが実践している食品ロス対策や食品ロス削減のためのアイデアを教えてください。すてきな賞品が抽選で当たります。

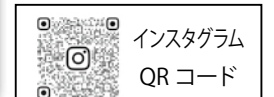
応募期間：10月1日(土)～11月30日(水)



応募は電子申請または
Instagramから



電子申請
QRコード



Instagram
QRコード